

自治協議会等ヒアリング結果（西 区）

1. 自治協議会について「制度ができてよかったこと」、「運営していて困っていること」はどんなことですか。 ・組織内部において、予算執行状況や活動内容を（ある程度）把握できるようになった結果、協力、助言等がしやすくなった。（3校区） ・構成団体間の交流が密になり、一緒に協議を行うことから問題点や活動の進捗状況について情報共有ができるようになった。（3校区） ・必須事業については、活動が活性化しているように思う。（2校区） ・全体的にスムーズな運営ができています。（4校区） ・担うべき業務が多い。よく似た組織や行事は合併等を考え、簡素化できないかと思う。 ・人材の確保が困難な状況の中、一人が複数の団体の役員を兼任する例が多く、組織が違っても集まる顔ぶれが同じという状態になっている。地域の実情にあった組織運営と役員体制について再検討しなければならない。 ・各種団体設立の趣旨を再認識することが求められる。 ・自治協議会の守備範囲が広がった結果、諸団体の自治協議会に対する依存度が高くなり、従来にまして指導力が必要になってきた。 ・行政の出先機関になりつつある。もっと協議会の自主性をもたなければならない。 ・協議会事務局の確立及び充実を図る必要があるが、人件費等で限界がある。 ・会計の負担軽減のため、会計が兼務している諸団体の活動内容とそれに伴う予算執行をチェックする部門を新設したらどうかと思う。 ・「活力あるまちづくり支援事業補助金」を受ける組織という認識である。 ・自治協議会の運営委員会が定例化していない。 ・（自治会の集合体である）自治連合会が自治協議会の中心となることに対する反発があり、自治連合会の必要性を認めようとしない気運がある。
2. 活力あるまちづくり支援事業補助金について、ご意見をお聞かせください。使い方を自分たちで決められる補助金制度ができたことによって、新たに始められた事業はありますか。 ・使用費目等の規制や対象外経費があることなど、使いにくい。また、事業実施に際し、効果的な運営ができにくい。（2校区） ・補助金の使途については、人件費、渉外費以外は自由に使えるようにしてもらいたい（例：交通費、区・市大会への出場経費、行事の弁当代）。 ・公金を使っていることから、何ら制約のない補助金ということは考えにくいと思う。 ・費目によって対象外経費があることなどから、会計処理事務がたいへん煩雑になっている。また、市からの直接補助金だけが公開の対象となること自体が不自然である。自主財源も含め、全て公開対象としても良いのではないか。そのためには、補助金の割り当て（活用制限枠など）を撤廃すべきである。 ・必須事業を定めていることで、それ以外で校区が必要と感じている事業に対し使用しにくくなっている。補助金の増額と、使途を自治協議会の裁量に任せていただけるようにならないか。それによって、もっと幅広い事業に対応していきたい。 ・活動が活発な部会（団体）の予算査定に苦労している。結果として、自己資金の支出が増加し続けており、補助金の増額が望まれる。（2校区） ・自治協議会の自主的活動はもちろんだが、行政から要請される活動であることから自主財源のみでの運営は難しく、補助金制度は継続すべきである。（2校区） ・まちづくりの基本となる事業が補助対象となっており、また、金額的にも妥当だと考える。現在の制度で良いと思う。（3校区） ・会計処理が煩雑であることや、補助対象であるかどうかの判断で迷う場面が多い。マニュアルの整備や年ごとの説明をいただければと思う。（3校区） ・補助金の使途に際しては、事業の内容をよく吟味してメリハリのある配分が必要だと思う。
3. 公民館の地域支援について、どのようなことを期待していますか。 ・自治協議会と公民館とはとてもうまくいっている。（3校区） ・住民が気軽に来館（利用）できる雰囲気づくりや運営をお願いしたい。（5校区） ・自治協議会と公民館はそれぞれ自立し、必要に応じて協調関係をとるような体制になっている。あまりなれあいになってしまうのもどうかと思う。 ・公民館は行政と地域との接点にあり、双方の代弁者という立場にある。住みよいまちづくりに向けた活動は自治協議会と公民館とが一体となり、対処することが不可欠である（2校区）。 ・自治協議会と公民館は、意思疎通を図っていく必要がある。事業実施にあたっては積極的に係わり、協力をいただきたい。（2校区） ・土、日曜の地域行事開催時には、事務補助要員ではなく館長、主事のいずれかが必ず勤務をするといった配慮が必要である。 ・公民館がコミュニティづくりの核として位置づけられているが、現在のスタッフでは機能強化を図ることができるか疑問である。 ・地域団体室の一部を自治協議会の部屋としているが、サークル活動が多く、緊急時の打ち合わせを行いたい場合に対応できない場合がある。 ・公民館が本来かわりを持ってやるべき業務は何なのか。 ・補助金の使途などについて公民館職員から指導していただければありがたいと思う。 ・自治協議会の事業と公民館事業は、今後ますます密接な関係が必要になると思われる。今後は、自治協議会組織に公民館事業を含めた組織を検討してほしい。
4. その他、コミュニティ施策全体について ・校区担当制度は、地域及び公民館と行政とのパイプ役として機能が発揮されており、また、気軽に相談できる関係ができています。（7校区） ・自治協議会と区役所は常に良きパートナーとしての関係を保ち、常に身近にいる存在であり続けてほしい。（2校区） ・校区ごとに状況が異なるのでそれぞれの事情を理解いただき、対応してもらいたい。 ・（地域支援課は）コミュニティ総合窓口として十分機能していないのではないかな。例えば地域の事情、特性を知らないことが多い。 ・行政は、各校区の実態について調査し、把握すべきである。その上で校区の活動目標を検討するという姿勢が必要である。（2校区） ・行政が担うべき業務と自治協議会との役割分担は明白に、慎重をお願いしたい。 ・（自治協議会）は行政の事業の受け皿であってはならない。 ・よく似た組織や会議が多いように思う。趣旨、目的を明確にし、簡素化してもらいたい。 ・行政と自治協議会との連絡窓口は一つとして、個別、具体的な事案の処理はそれぞれの担当課で行うというシステムについて検討（徹底）できないか。 ・区役所と各課間の連絡、調整等、意思の疎通はどのように図られているのか問いたい。 ・校区担当職員には、少なくとも月に2～3回は現地で役員と懇談する機会（雑談で構わない）を持ってほしい。 ・校区担当職員制度は良いが、現行では職員がいつ来館するかわからない。日にちを定めて公民館を行政相談窓口として機能いただければと思う。 ・体育指導委員制度は不要である。その予算で区役所にこども未来局の窓口を設置するなど、無駄をなくしてほしい。 ・市民活動保険は、提出資料の要件が厳しく、その割に保険金は出ない状況が見受けられる。そのため各部会とも別途スポーツ保険に掛けている。自治協議会の主催事業の際にも考える必要がある。 ・社会福祉協議会の補助金は額が少なく、思うような事業ができないとの声を聞く。（2校区） ・町世話人制度の廃止により、行政からの依頼事項について自治会長の協力を得にくくなっている。何らかの形で処遇の向上に努めていただきたい。（3校区）
5. 地域活動をしていて「よかったこと」、「困っていること」はどんなことですか。 ・自治会に加入しない住民について、加入促進、災害時の対応等で困っている。（3校区） ・業務の多忙さ、高齢化や共働き世帯の増加といった理由により、自治会長や団体の役員を選出することが難しくなってきた。（3校区） ・児童、生徒の安全について、地域が積極的に活動しているのにPTAはあまり動かないといった声がある。地域住民の声かけがしやすい環境が望まれているのに、実態は逆に向かっている。 ・自治協議会の業務が多忙のため、単位自治会の業務がおざなりになってしまっている。 ・高齢者の孤独死といった事案が発生している。町内会長と民生委員が共同で動いているが、不在の場合には対応が遅れる場合がある。 ・地域が考えなければならないことかもしれないが、自治会長任期1年という中で、うまく地域が回っていくような仕組みを行政も考えてほしい。
6. その他、日ごろの地域活動でお気づきの点をお聞かせください。 ・校区内のことに専念すればよいと思っていたが、各部署よりの依頼、会議、講習会等が多すぎる。（理想の将来像は）地域の特性を考え、校区の住民で協議し、今より少しでもよくすることだと思う。とても忙しい現状では、地域単独の事業には取り組みにくい。 ・部会における事業内容はマンネリ化していると感じている。「事業のための事業」となってしまい、もともと何が目的で実施しているかが見えなくなっている。ほかの校区の情報も得て、良いと思う要素は取り入れていく姿勢が必要。現状は、「攻め」ではなく「守り」の運営に終始していると感じている。 ・地域の役員は概ね70歳前後の、現役を退いた方が多いように思う。一方で仕事を持っている方も多い。すなわち、時間の制約を受けながら活動しているわけで、対応できる範囲でしか動けない。その結果、事業内容も年度によって濃淡が生じてしまう。仕事を休んで地域のことをやってもらいたいと言うわけにもいかない。となると、ほかの役員にしわ寄せが来ることにもなる。仕事を持たない者にしか役員はできないといった状況に至ってしまうのではと感じている。 ・公民館利用者は自家用車での来館が多く、駐車場で頭を痛めている。全市的見地に立って、抜本的な対応が必要である。（2校区）

